

北地域後援会は我孫子1~4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

庭先のふじ



# しらかば北

発行責任者  
井上文夫  
(部内資料)

## 憲法九条守れに5万人

に、憲法9条を改悪して、戦争する国づくりに突っ走る高市政権に強い危機感を抱いた市民が、「このままでは9条が改憲される」という切実な思いで昨年よりはるかに多く、

5月3日、東京臨海広域防災公園で開かれた『つながろう憲法いかして平和な世界を！2026憲法大集会』に参加しました。薄日が射すさわやかな天気のもと、会場は5万人の参加者で埋めつくされました。



足を運んだのではないでしようか。  
我孫子駅で待ち合わせをして20人近い人たちと一緒に歩きました。それ以外にも多くの我孫子市民が参加したと思います。作家や市民運動の人たちや各政党の国会議員がスピーチを行い「改憲を許さない声を草の根から上げていきましょう」などと訴えました。

共産党の田村委員長も高市首相を厳しく批判しました。「トランプ大統領になぜ「戦争を止めろ」と言えないのか、自らの「台湾発言」で中国との関係を最悪にして、その発言を撤回もせず、危機をおおりに軍拡までおこる、こんな事を断じて許す訳にはいきませんと、力強く糾弾した言葉に、私も「そうだ！」と思わず声を上げました。

集会には若い人の姿を多く見かけました。

また、「全日本食パン30枚切り推進委員会」「大人数苦手同盟」「三食モリモリバーニング連合」「全日本ブリシヨ似の猫を愛でる会」など、自分の意思で参加したことを表したのぼりが多かったことも、運動の広がりを感じました。  
(井)



## 手賀沼で憲法を守る集会に参加した



4月29日、手賀沼公園で「我孫子市九条の会」が呼びかけた「NO WAR」集会が開かれ、100人を超える人が参加した。「NO WAR」というプラカードを首から提げた人をはじめ、平和と反戦の思いを込めたさまざまな人たちが集まった。

和と戦争の問題、憲法を守る、九条を守る思いを語った。  
イマジン (ジョンレノン)  
を歌った人もいた。

演壇があつて、決められた団体などからのあいさつがあるわけでもなく、司会者を取り囲むように参加者が向き合つて話を聞き入っていた。

憲法九条の全文が書かれた「のぼり」というか旗という大きな横断幕が立てられていた。

1年以内に改憲を決議すると言いつつ放った高市発言に怒りがつづいてた。

こんな集会があつていい、手賀沼で何回やってもいい、高揚感を感じながら家に帰った。帰宅して、書棚から「新しい憲法のはなし」(復刻版)を引っ張り出し、「六 戦争の放棄」の項を読んだ。核心部分を引いておこう。「こんど憲法では、日本の国がけつして二度と戦争をしないように二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないということですよ。」  
「もう一つは、よその国と争いごとがおこったとき、けつして戦争によつて相手をまかして、じぶんのいいぶんをとおそうとしないということをきめたのです。」  
「言うまでもないが当時の政府(文部省)の見解です(竹)

## 花火

『デモカレンダー』を存じますか？全国各地の戦争や改憲に反対するデモや集会の日

時や場所などを紹介するウェブサイトで。運営しているのは、これまでデモに参加したことがなかった38歳の主婦▼元々は政治に無関心でしたが、ウクライナやガザでの戦争や、衆院選での自民党の圧勝で高市首相が改憲に意欲をみせるもついで、「憲法9条が改正される普通の日常が崩れていくのではと怖くなった。でもまだ何かが変わったわけではない」と足を踏み出しました▼いま、『デモカレンダー』を見て、新たに行動に参加する若い世代が広がり、我孫子市でも4月24日に60人、29日には100人の人たちが集まる力となりました▼24日の行動に参加した青年労働者は、「緊張し震えています」とマイクをとり「世界がトランプの無法なイラン攻撃を批判するなかで、日本政府がアメリカに追隨しているのはおかしい」と堂々と語り「この集まりを計画してくれた方たちに感謝します」と結びました。胸が熱くなりました(岩切)

# 憲法の平和主義を守る



5月5日、我孫子市民プラザホールで憲法講演会が開かれました。講師の元東海大

## 『憲法の平和主義を守る』

### 「せまりくる改憲の危機」

と題して、会場いっぱい参加者に熱のこもった講演をしました。

日本国憲法の平和主義を構成する5本柱について

- ①戦争を放棄 ②戦力・交戦権の不所持 ③人権保障（平和的生存権） ④国際協調主義 ⑤文民統制、民主主義の自律について、緊急事態条項の創設について、

「内閣は、法律によらず国民の自由権利を制限することができる」これは、首相の独裁政治となる危険を持つものである。

## 九条改憲の狙い

日米安保条約の下で、アメリカと一緒に戦争をする自衛隊づくりであり、①集団的自衛権の行使、②敵基地攻撃、③武器輸出の解禁、④軍需産業の奨励など。

## 憲法改憲を許さない

参議院で3分の2以上の議席確保、地方議会で改憲させない議決、国民投票で半数以上の確保。改憲を許さない世論を高めていくことに希望がある。力強い講演に『改憲許すまじ』の思い新たです（江）

## 困った！残念！あびこ診療所「休止」

4月23日我孫子診療所から「診療休止のお知らせ」が発表されました。

「…諸般の事情により2026年6月1日より当面の間、診療所を休止することになりました」

「継続的な治療や定期的な診察が必要な方には、診察内容に応じて適切な医療機関をご紹介しますので、スタッフにご相談ください」とのお知らせがありました。

問い合わせ先 あびこ診療所  
電話 04-7181-7007  
FAX 04-7186-5071

## 国民救援会我孫子支部学習会「スパイ防止法」について

4月18日、湖北台近隣センターで国民救援会我孫子支部による「スパイ防止法」の学習会が行われた。

講師は治安維持法犠牲者国賠同盟東葛支部の私（竹内）が、

①想定される「スパイ防止法」の内容とその狙い、②昨年12月の自民党・維新の会の連立政権合意書にもとづいて「スパイ防止法」に

## 五感で生きる—山と私の物語—

（柴崎）鈴木清

\*谷へ降りる\*  
自然と一体になる感覚

それ以来、私は山に入ると自然と谷へ降り、水の流れや静けさ、土や草の香りに身をゆだねる時間が増えていきました。足元の小石を踏む感触、水辺に集う蝶々、耳元を抜ける柔らかな風、五感すべてが研ぎ澄まされ、自然の一部として呼吸しているような、一体感に包まれるようになったのです。



\*水源を探して\*  
心が導く冒険

この水はどこから来るのだろうか？そんな思いが募り、私はいつしか上流を目指して歩き始めていました。足元の岩は苔むし、息を吸い込むと山の匂いが染み渡ります。やがて湧き出る水源にたどり着いたとき、そのすべてが圧倒的な感動となって私を包み込みました。

自然の営みの大きさ、自分の小ささを思い知り、胸の奥が熱くなったのを覚えています。

\*犬たちと帰路へ\*  
動きと音の記憶

しかし帰り道が分からなくなり、急に心細



朝日連峰 出谷川 (筆者撮影)

さがこみ上げてきます。すると、谷の上から犬たちの吠える声が響きました。私が口笛を吹いて呼びかけると、パツパツと落ち葉を踏みしめる音とともに犬たちが駆け寄ってきました。彼らに導かれるように歩くうち、散歩道へと戻ることができました。犬たちの温かい温もりや息遣い、山の空気の清涼さが一層心に残る出来事でした。

\*沢登りという私の登山\*

やがて私は川を遡り、分水嶺を目指し沢登りをするようになりました。リュックには米、みそ、塩、砂糖など最小限の食料と、飯盒・寝袋・フライシート・ザイル20Mを詰め込みます。

山の気は、夜になると一段と冷たくなり、吐く息が白くたなびく中、沢の水の音が闇に溶け込んで響きます。指先で触れる岩のざらつき、焚き火の煙の匂い、寝袋に包まれて聞く風のうなり—すべてが「生きていく」という実感に変わっていきました。(続)